

第400輯

わが町と原

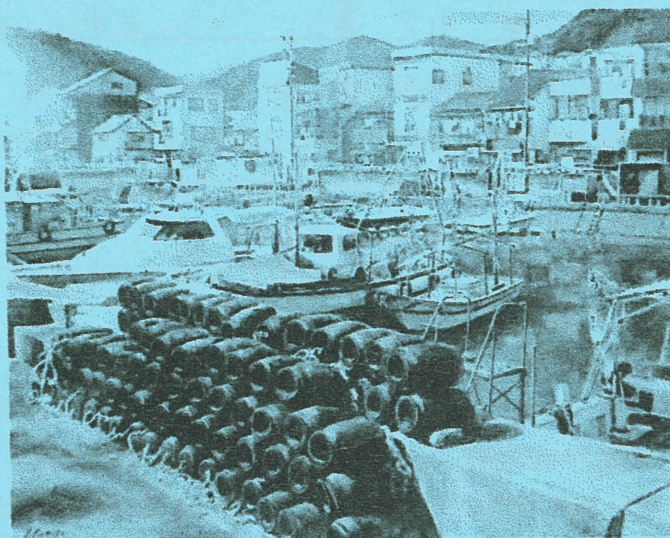
みはら歴史と観光の会

平成3年3月創刊
月刊

令和6年

7月号

第四百輯記念特集号



〔積み重ねて400輯 この蛸壺の4倍近い数の結晶〕

画 上田嘉信(西宮)

平成3年3月に創刊号を発刊以来、積み重ねて400輯を迎えることができました。「継続は力なり」レキカンの「わが町 三原」が皆さんのお力で500輯、600輯と発刊できますよう宜しくお願いいたします。

七 月 の 行 事	各 地	【半どん夜市】 以下はいずれも 18:00~21:00	
		~20日(土)毎週土曜	本町中央通り・一丁目、帝人通り
		27日(土)のみ	宮沖公民館横
		8月03日(土)のみ	浮城東通り(イオン駐車場内)
	会	【祇園祭】	
		06日(土)お旅	13日(土)お山入 八坂神社(西宮)
		07日(日)渡御	14日(日)還御 沼田神社(沼田東町)
		14日(日)	久井稻生神社(久井)
		20日(土)	2024 沼田本郷 夏まつり
		20日(土)	佐木島 和霊石地藏祭り 17:00~
		27日(土)	御調八幡宮 11:00~慰霊祭 11:30~御焚上神事
		27日(土)	大正・昭和の三原 (13) 10:00~ サン・シープラザ4F

- P 1 表紙…表題：第四百輯記念特集号 行事予告
 写真：積み重ねて400輯 この蛸壺の4倍近い数の結晶
 2 夏にも「三原だるま」を！ 古浜 一瀬 尚志
 3～19 第400輯祝辞 上田会長、三原市長、教育長、図書館長、観光協会会長、
 しまなみ信金理事長、桜山会理事長、西野梅林会会長、宮原顧問、大谷相談役
 大坪副会長、瀬畑副会長、山本公恵、行武郁子、行長啓三、上田茂
 20 会よりの便り 事務局



ふづき

文月

今月の各地



きのえ たつ

甲辰

むら くら。

AJ2684

令和六年

AD2024

まち まち

歳時記

夏にも「三原だるま」を！

古浜 一瀬 尚志

冬の風物詩「神明市」。40万人もの人が三原に集まり、夏のやっさ・冬の神明と三原を盛り立てる。市外から来る人が「三原だるまはどこで売っていますか？」と問う。皆さんは答えられますか？

江戸時代、疫病を祓うために作り始めた三原だるまは、江戸末期には下級武士の副業として発展したとの説があります。

先の大戦後廃れてしまいその姿は消えてしまいましたが、三原小学校の校長を務めた故・久保等さん(レキカン元会員)が中心となり、1980年代に「三原だるま保存育成会」が立ち上げられ三原だるま作りが再開しました。今は佐木島の鳥生悦郎さんが引継ぎ、三原にだるまの姿が戻ってきました。

近年には材料の張り子紙が入手困難となり製作がストップ。これも福祉作業所の尽力で一から生産、職人の後継者も少ない中、その火を絶やさぬよう伝統を守り続けています。

三原だるまは、その特徴として①「願いが成るように」と鳴り物(鳴る=成る)の鈴や小石を入れてあること、②豆絞りを巻いていること、③最初から目が描かれていること、④転んでも必ず起き上がること、があります。最近ではアートだるまを多数展示する「ダルマート」が開催され、伝統と新しさの融合も図られて、広がりを見せています。

三原城船入櫓入口(喜多扇さん隣)にオープンした「マルシェ・インザルーム」では、三原だるまの展示・販売を計画しており、今後このような店が駅前に複数展開することで、浮城ロビーを核としてあちこちで三原だるまを見かける視認性の高まりを目指していきます。伝統を守り、歴史をつなぎ、そして未来に広げていきたいものですね。

(「みはらだるま」ホームページより一部引用あり <https://mihara-daruma.com/>)

<お詫びと訂正> 先月号の歳時記欄に誤字がありました。お詫びして訂正します。

下から2行目 収穫残差 → 収穫残渣
 (誤) (正)

レキカンだより

令和6年7月

検索

わが町三原

みはら歴史と観光の会

723-0051 三原市宮浦6丁目 9-32

TEL 080-6335-9932

FAX 0848-63-9932

Eメール kechigo@dream.jp

～みはら市民協働サイト「つなごうねっと」加入団体～

レキカンには新入会員・再入会員を募集・歓迎しております

行 事 報 告

- 5月27日 月報発送配布作業 (大原、岡田、桑田、小森、川上、近藤、
正田哲、瀬畑、高杢、津島、西村、松竹、三好他)
- 6月03日 6月度理事会 (レキカン総会・秋のバス研修旅行の件他)
- 6月16日 総会並びに記念講演会 120名参加
- 6月01, 05, 10, 18日 京覧カントリークラブ入口花壇整備 (小森、津島、瀬畑)

行 事 予 定

1. 勉強会 大正・昭和期の三原 (13)
 - (1) 日 時 令和6年7月27日 (土) 10時～12時
 - (2) 会 場 サン・シープラザ4F 第2研修室
 - (3) 内 容 三原市史を中心とした資料で輪読形式
2. 行事予告 … 詳細内容と参加募集は追って連絡します
 - 2.1 市郷連「新高山城跡を守る会」による歴史講演会 本郷生涯学習センター
10/13頃 「三原城跡-石垣調査の結果を中心に」
講師 三原城研究会 福井万千先生
 - 2.2 秋のバス研修旅行
11/03 岡山城と備前長船刀剣博物館方面を予定
 - 2.3 県史協 東広島大会
11/09 東広島芸術文化ホールくらら
午前 講演会「地歴から解く東広島の歴史」他
午後 臨地研修 三ツ城古墳他

蔵書と寄贈文献のご紹介 (港町福岡文庫保管)

複写地図：昭和14年12月東京交通社発行の「大日本職業別明細圖 信用案内
索引附住所入 第六百八號 廣島縣三原市」版 東町 行武郁子会員より

編集後記

★機関誌「わが町三原」は今月号で記念すべき400輯となった
★レキカン創始者の一人である故福岡幸司氏は、入院中でもワープロをベッドに持ち込んで原稿を書き続けたと聞く★この度、三原市長様をはじめお世話になった多くの方々に祝辞執筆をお願いしたところ、皆さん快く引き受けて頂き、励ましのお言葉に溢れる分厚い記念輯となりました。厚く御礼申し上げます★会員からの投稿には、長く続けるだけでなく、手にした人に満足感を与える内容であるべきとの指摘もあった。会員一致してその実現を目指しましょう。乞う御協力。(健)